世界ジオパークのまち
糸魚川市
Itoigawa City

WASEDA University

新潟県糸魚川市 ＆ 早稲田大学
地域連携スタディツアー2026

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 相馬御風や地域文化に興味のある学生におすすめ。糸魚川を舞台にした映画制作やロケ地を実態的に学びます。
- 地域の魅力発信や動画制作に関心がある学生におすすめ。実践的な PR 戦略を考え、プレゼンテーションにつなげます。
- 本映画の監督と主演俳優の方から、映画に込めた想いや製作現場などについて、直接お話を聞くことができます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

校歌の父・相馬御風と映画ロケ地が紡ぐ糸魚川の魅力発信
～大学生の感性で挑む SNS・動画プロモーション戦略～

糸魚川市は雄大な自然とともに、深い文化が息づくまちです。とりわけ、早稲田大学校歌「都の西北」の作詞者である相馬御風の生誕の地であり、現在は、その生涯を追う映画『ふるさとへ還るとき～相馬御風を訪ねて～』の公開を控え、今まさに新たな物語が動き出しています。しかし一方で、こうした地域の誇る歴史や魅力が、現代の若者や市外へ十分に届ききっていないという課題があります。

このスタディツアーでは、早稲田大学と深い縁を持つ糸魚川市を巡って、御風の足跡や撮影地でのフィールドワークを通じて地域の宝を再発見します。そして、若者ならではの視点を活かし、「市の公式 Instagram 等で活用できるショート動画」の制作と、今後の展開も見据えた PR 戦略を考察して、プレゼンテーションしていただきます。

糸魚川市の魅力

新潟県糸魚川市は新潟県の最西端に位置し、南は長野県、西は富山県に面しており、北陸新幹線でのアクセスが良好です。世界最古のヒスイ文化や貴重な地質があることから、ユネスコ世界ジオパークに認定されており、豊かな自然環境と海・山の幸が自慢です。ミネラル豊富な雪解け水からつくられた米や日本酒、地元の港で水揚げされるベニズワイガニや南蛮エビ、肉厚でやわらかい越の丸なすなども魅力の一つ。スキー・スノーボード、サーフィン、釣り、登山、温泉などアクティビティも充実しています。





募集概要

実施日程	2027 年 2 月 5 日（金）から 2 月 8 日（月）　3 泊 4 日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 15 日（日）23：59 [厳守]
応募条件	①2 回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地 3 泊 4 日の全日程に参加すること（途中参加・早退不可）。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3 点を確約できる者。
募集人数	10 名　※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	①　12 月に 2 回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ②　現地実習参加（最終日の成果報告会でプレゼンテーション） ③　終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDA の「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2026 春編」を検索 ②「地域連携スタディツアー2026 春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は**2026年11月27日（金）までに申込時に記入したメール**にて通知します。 ※この日程前であっても、ご連絡することがありますので、よくメールを確認するようにしてください。また、当選者には、メールにて参加の意思確認をします。**返信がない場合は無効になりますのでご注意ください。**
連絡事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1 単位相当」として認定されます。 ② 2027 年 2 月 5 日から 8 日の現地実習は、現地集合・現地解散で、**往復交通費は自己負担**です。 ＜交通費目安＞東京駅～糸魚川駅 片道　11,420 円（新幹線／指定席利用） ③ 参加者が現地で負担する費用は、**宿泊３泊・朝食付（ツインルーム）25,000 円程度のほか、昼食・夕食の実費です。** ＜宿泊場所＞ホテルジオパーク　住所：〒941-0061 新潟県糸魚川市大町 1-5-1 ④ 現地での移動は、糸魚川市役所からご支援をいただきます。 ⑤ プログラムを終えて「1 単位相当」に認定された人は、糸魚川市の補助金（最大２万６千円程度）の対象になります。補助金を受け取るために、交通費や宿泊費の領収書を提出していただきます。詳しくは事前学習にてお知らせします。 ⑥ 現地では、本学教員と自治体職員・関係者が引率します。 ⑦ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑧ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑨ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑩ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、11 月に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑪ 本スタディツアーでは連携先、大学がインスタグラム等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑫ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバル・エデュケーション・センター　准教授　加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2月5日(金)	11:36	糸魚川駅集合（参考:はくたか557号）
		フォッサマグナミュージアムへ移動
	12:00	オリエンテーション
	12:30	糸魚川市職員から説明
	13:00	PR素材となる相馬御風の映画についての説明**（公開講座）**
	15:00	フォッサマグナミュージアム館内見学
	17:00	ホテルにチェックイン、ふりかえり、夕食、班別学習
2月6日(土)	8:45	集合、連絡事項
	9:00	ロケ地巡り
	12:00	昼食
	13:00	ロケ地巡り
	17:00	ふりかえり、夕食、班別学習
2月7日(日)	8:45	集合、連絡事項
	9:00	班別学習(成果物の作成)@駅北広場キターレ
	17:00	ホテルに戻り、夕食、班別学習
2月8日(月)	9:00	成果報告・意見交換会@市民会館3階会議室
	11:15	現地解散（参考:11時48分　糸魚川駅発　はくたか560号）

※天候や訪問先のご都合等によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、２単位相当を要件としています。
本スタディツアーは１単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で実施しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。